

平成 30 年度 事業報告

1. 事業

この法人は、進路指導の普及発展に寄与することを目的として、平成 30 年度は定款第 4 条に掲げる下記の事業を行った。

(1) 進路指導に関する調査研究

1) 研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

(2) 進路指導に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

1) 第 67 回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

○大会主題 「新学習指導要領に向けた 進路指導・キャリア教育の一層の推進を目指して」

○会 期 平成 30 年 7 月 26 日（木）、7 月 27 日（金）の 2 日間

○会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）

○参加人数 350 名

○日 程

第 1 日 7 月 26 日（金）

① 開会式（9:40～10:10）

式 辞 公益財団法人日本進路指導協会 会長 鈴木 正 人

祝 辞 文部科学省 文 部 科 学 省 殿

功績者表彰 日本進路指導協会会長感謝状贈呈者

前 奈良県立西和清陵高等学校校長 浦 井 文 彦 殿

埼玉県立浦和商業高等学校校長 梶 寛 治 殿

鹿児島県鹿児島市立天保山中学校校長 川 崎 優 志 殿

国立大学法人愛知教育大学講師 京 免 徹 雄 殿

滋賀県甲賀市立甲南中学校教諭 甲 津 一 彦 殿

千葉県印西市立原山中学校校長 関 根 寿 典 殿

独立行政法人労働政策研究・研修機構理事 室 山 晴 美 殿

② 記念講演（10:10～11:30）

演 題 「日本の教育のグランドデザイン～新しい学習指導要領への期待」

講 師 文部科学省 初等中等局 財務課長 合 田 哲 雄 氏

③ 分科会（13:00～16:00）

第 1 分科会 「進路学習・キャリア教育の計画と実践」（中）

第 2 分科会 「進路学習・キャリア教育の計画と実践」（高）

第 3 分科会 「中学校における進学・就職への指導・援助の在り方」（中）

第 4 分科会 「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」（高）

第 5 分科会 「小・中学校におけるキャリア教育の在り方」（小・中）

第6分科会「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」(高)

第7分科会「小学校におけるキャリア教育の計画と実践」

第2日 7月27日(金)

① 全体会 (9:30~11:50)

小学校・中学校全体会「小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決」

高等学校全体会「高校における進路指導キャリア教育の諸問題とその解決」

② 研究協議 (13:00~16:00)

全体研究協議

「地域と学校の協働によるキャリア教育の推進」

2) キャリア研修講座(全8回実施)

回	日程	研修テーマ	講師(予定)
1	5月26日 (土)	新学習指導要領に基づくキャリア教育を現場で具現化する	筑波大学 教授 藤田 晃之
		本校におけるキャリア教育の実践	杉並区立第四小学校 校長 高橋 浩平
2	6月2日 (土)	特別活動におけるキャリア教育の展開	愛知教育大学 講師 京免 徹雄
		本校におけるキャリア教育の実践	富士見市立ふじみ野小学校 校長 堀川 博基
3	6月30日 (土)	主体的・対話的で深い学びの実践	静岡県立浜松北高等学校 教諭 大村 勝久
		主体的・対話的で深い学びの実践	静岡県立浜松北高等学校 教諭 大村 勝久
4	7月21日 (土)	新学習指導要領を読み解く(仮題)	千葉大学 特任教授 天笠 茂
		千葉県連携アクティブスクールのキャリア教育の推進	千葉県立流山おおたかの森高等学校 校長 勝井洋一
5	9月8日 (土)	社会會が変わる！教育を変える！	日本進路指導協会 理事 千葉 吉裕
		キャリア教育の視点で捉えた学級活動の実践	横浜市立中川西中学校 教諭 山田 真也
6	10月20日 (土)	開かれた教育課程をどう捉えるか	NPO 法人スクール・アドバンス・ネットワーク 代表 生重 幸恵
		学校とNPOの連携で見られた子供たちの変化	NPO 法人キーパーソン 21 副代表理事 渡邊 明男
7	11月24日 (土)	小中一貫教育におけるキャリア教育	越谷市立浅間台小学校 校長 澤田 一郎
		各種調査をきっかけとしたキャリアカウンセリング	三鷹市立第五中学校 教諭 大森 拓
8	12月1日 (土)	キャリア教育への厚生労働省の取り組み	厚生労働省職業能力開発局
		キャリア教育への経済産業省の取り組み	経済産業省経済産業政策局

(3) 平成30年度(第17回)協会賞・功績者表彰の授賞者の選定について

平成30年3月14日(水)協会事務室にて協会賞選考委員会を開催した。(該当者なし)

平成 30 年 6 月 13 日（水）協会事務室にて功績者選考委員会を開催選定した。（P2 に掲載）

（4）進路指導に関する関係諸団体との連絡提携

1) 進路指導研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会（以下全中進という）、全国高等学校進路指導協議会（以下全高進という）、ならびに日本キャリア教育学会（以下学会という）との密接な連携のもとに進めており、第 41 回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第 43 回全国高等学校研究協議大会を兼ねる形で実施した。

また、この事業は文部科学省の後援をいただいたほか、次の諸団体の後援をもいただいた。

東京都教育委員会	全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会	全日本中学校長会
全国高等学校長協会	日本私立中学高等学校連合会

2) 機関誌「進路指導」の編集についての連携

機関誌「進路指導」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。

そのため小・中・高の進路学習の実践モデルを連載するなど、新企画の編集について全中進・全高進の積極的な協力を得て推進した。

3) 日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会等多くの関係団体との連携を図った。

（5）進路指導に関する資料の収集及び展示

1) 研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、2 か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料は一部を機関誌「進路指導」で紹介し、他は整理保管し、関係者の求めに応じて展覧に供してきた。

2) 研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導研究大会等に出席の折、進路指導諸資料の収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

（6）進路指導に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

1) 機関誌「進路指導」の出版・推薦

協会発足より 90 年間にわたり機関誌「進路指導」（旧「職業指導」）を出版刊行してきたが平成 20 年度から月刊を季刊に改め、本年も継続し努めて全国小・中・高・大等現場の教

育者の購読を推奨してきた。

2) 副読本「中学生生活と進路」の改訂・推薦

全面的に改定された「中学生生活と進路」の採択促進に努めた。

3) その他の書籍の出版・推薦

文部科学省（旧文部省）の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引（各編）」および「中学校（高校学校）進路指導資料（2・3分冊）」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している小学校キャリア教育実践講座（三村隆男著）・キャリア教育Q&Aワーク（中学校編）鹿嶋研之助監修・キャリア教育のエッセンス（吉田辰雄監修）の普及に努めた。

(7) 進路指導に関する研究委託校の決定と指導援助および助成

1) 研究委託校の選定

公益財団法人日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。平成30・31年度委託校は下表のとおりである。なお本年度は小中連携あるいは中高連携をねらいとして選定した。

平成30・31年度研究委託校一覧

番号	学校名	〒	所在地	TEL・FAX	研究題目
1	東京都板橋区立 中台小学校	174-0064	東京都板橋区中台1丁目9 -7	TEL 03-3932-6327	検討中
2	東京都町田市立 忠生中学校	194-0035	東京都町田市忠生3丁目 14-1	TEL 042-791-0821	検討中
3	神奈川県横浜市 立中川西中学校	224-0001	神奈川県都筑区中川2丁目 1-1	TEL 045-912-1270	検討中

2) 指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費を負担している。

次年度に平成30・31年度研究委託校に対し、研究実践成果報告書の提出をもって、その作成謝金として1校当たり30,000円を交付する。

(8) 児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半です

が、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

(9) 進路指導に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

協会は文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べたり、調査研究に協力してきた。

(10) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 進路指導の国際機関である国際教育・職業指導協会（IAEVG）の加盟団体として、また、アメリカ進路指導協会（NCDA）の友好団体として、さらにはアジア地域教育・職業指導協会（ARACD）の有力メンバーとして国際活動に協力した。
- 2) 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他の関係団体と協力し、進路指導の交流・発展に努めた。